学校番号	TO11O

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	2 単位	年次	3,4 年次
使用教科書	情報の科学　新訂版（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（パソコンやスマートフォンなど）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて、ワークショップや演習、プレゼンテーションソフトを使った発表等を通して考え、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分の考えを持ちましょう。
・情報技術の基礎・基本的な技能を身に付け、資格を取得しましょう。

2　学習の到達目標

・コンピュータやネットワークを利用したコミュニケーションについて学ぶとともに、情報技術の役割や影響を理解する。
・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報社会を支える情報技術の役割や影響に関心を持ち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用しようとする態度	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報モラルを踏まえて、情報技術の役割や影響における思考を深め、適切に判断し、表現しようとする力	情報及び情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、身のまわりの問題を解決するために、情報及び情報技術を適切に扱っている	情報及び情報技術を問題の発見と解決に効果的に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解している
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価・自己評価	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価・自己評価	・学習状況の観察 ・実習作品 ・課題作品 ・発表 ・実技テストの結果	・学習状況の観察 ・プリントやワークシートの記述 ・実習作品 ・課題作品 ・発表

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	情報とコンピュータ	■情報の表し方について学ぶ ■情報のディジタル化について学ぶ	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:図形のディジタル化、図形の数値化、カラー画像の数値化などの実習に関心をもち、積極的に取り組んでいるか b:情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができるか c:コンピュータを活用して図形のディジタル化やカラー画像の数値化ができるか d:コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組み、ディジタル化の利点を理解しているか	・授業観察 ・プリント
前期	問題解決	■問題解決について学ぶ ■グループ活動 ■ブレーンストーミングとKJ法 ■振り返り	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○	○ ○ ○	a:問題解決の方法と手段について関心をもち、グループ活動や体験的な活動に積極的に参加しようとしているか b:身のまわりにどのような問題があるか見つけ、その解決に向けて自分の考えを表現できるか c:ブレーンストーミングや KJ 法など、問題解決のための技法を使うことができるか d:自分の考えや他者の考えなど、多様な考え方があることを理解しているか	・授業観察 ・ワークシート ・課題作品

後期	セキュリティ	■情報社会の安全を脅かすものを学ぶ ■セキュリティ技術を学ぶ ■自分の考えをまとめ、パワーポイントを使った発表 ■自己評価と相互評価	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:サイバー犯罪や情報セキュリティの仕組みに関心をもち、スマートフォンやパソコンなど、身近なものの情報セキュリティを高めようとしているか b:サイバー犯罪や情報セキュリティについて考え、善悪の判断ができるか c:プレゼンテーションソフトを使用し、自分の意見をまとめて発表できるか d:他者の考えを理解するとともに、情報セキュリティの重要性を理解しているか	・授業観察 ・プリント ・実習作品 ・課題作品 ・発表 ・相互評価 ・自己評価
後期	情報社会の発展と知的財産権	■情報技術の進展と生活について学ぶ ■知的財産権について学ぶ ■自分の考えをまとめ、プレゼンテーションソフトを使った発表 ■自己評価と相互評価	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○	a:情報社会において、情報の発信者及び受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動しようとしているか b:情報化の課題や知的財産権の保護について考えることができるか c:プレゼンテーションソフトを使用し、自分の意見をまとめて発表できるか d:情報技術の発達による社会・生活の変化や情報技術の発展について理解しているか	・授業観察 ・プリント ・課題作品 ・発表 ・相互評価 ・自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。